

生協って何だろう？

7月30日は「生協の日」！



商品を販売しているだけでなく、地域でイベントを開催したり、環境問題に取り組んでいたり……。生協はさまざまな活動をしています。一体どんな組織なのか考えたことはありませんか？
7月30日の「生協の日」にあわせて、改めて生協のことを考えてみましょう。

Q1 生協はなぜ「コープ」と言うの？

- ① 英語で「会社」の意味だから
- ② 英語で「協力」の意味だから
- ③ コープさんが生協を作ったから

生協は、みんなの願いをかなえる組織

「安全で安心できる商品がほしいな」「便利に買い物したいな」……。私たちのくらしの中には、さまざまな願いがあふれています。こうした願いは、一人ではかなえることは難しくても、みんなの力を合わせれば実現できるかもしれません。そこで生まれたのが生協（コープ）です。みんなが協力し助け合うことで、一人ひとりの願いを実現することを目指しています。

食品や日用品を購入するだけなら、スー



パーマーケットやインターネット通販などでもできます。生協が企業（株式会社）と大きく異なるのは、より良いくらしのために私たち自身がお金（出資金）を出し合って組合員となり、さまざまな場で意見を出し合って運営の方向性を決め、商品やサービスを利用していること。組合員による組合員のための組織だから、みんなの願いを実現できるのです。

7月30日は「生協の日」！

生協は「消費生活協同組合法（生協法）」という法律で定められており、コープデリグループのような宅配やお店を展開する「地域生協」や、医療・福祉事業を担う「医療生協」、大学の学生や教職員のための「大学生協」などがあります。*全国の生協数は500以上、組合員は3000万人以上！生協は、私たちのくらしにとって身近な存在でもあります。

こうした生協の事業や活動をもっと広く知っていただくため、7月30日を「消費生活協同組合の日（生協の日）」として記念日登録しました。これは生協法が公布された1948年7月30日にちなんだもの。生協の日に向けて、コープデリグループでもさまざまなキャンペーンを実施します。お楽しみに！

※2022年度末、日本生活協同組合連合会調べ

今回の取り組みは、目標17：

パートナーシップで目標を達成しよう
につながっています。

17 パートナーシップで目標を達成しよう

生協の取り組み

より良くらし、持続可能な社会づくりのために、
例えばこんな取り組みをしています

リサイクルの
推進



生産者への
支援

フードドライブ
の推進



「誰一人取り残さない」
社会の実現へ



こちらからも「生協の日」
情報をチェック！



クイズの答え:

Q1. = ② Q2. = 全部!

生協は、SDGs 達成への
重要な存在

生協の成り立ちや目的は、SDGs が目指す「誰一人取り残さない」社会と同じもの。また生協はリサイクル活動や環境に配慮した商品の取り扱いなど、SDGs が採択されるずっと前から、持続可能な社会づくりに取り組んできました。人と人とのつながりを大切に

Q2 生協がやっていることはどれ？

- ① ペットボトルを回収し、商品のパッケージなどにリサイクルしている
- ② 配達中に高齢者などの異変に気付いた場合、自治体の窓口などに連絡している
- ③ 物流施設などに太陽光発電パネルを設置し、発電した電気を組合員に届けている

「協同組合」はユネスコ
無形文化遺産です

協同組合は19世紀にヨーロッパで始まり、日本を含め世界各地に広がりました。国連教育科学文化機関（ユネスコ）は、2016年に「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」をユネスコ無形文化遺産に登録。さまざまな形で私たちの暮らしを支える協同組合の目的や活動が、人類の大切な財産であり受け継いでいくものとして、国際的にも評価されています。

ながら、より良い社会を目指す生協（協同組合）は、SDGsでも目標の達成に重要なステークホルダー（関係者）のひとつとして位置づけられています。

宅配

7月4回「ハピ・デリー」の表紙で「職員に聞きたい推しCO-OP商品」第1位の商品を紹介。
また7月1回〜4回商品カタログでロングセラー商品や組合員のおすすめ商品などを紹介するほか、7月5回「ハピ・デリー」で全国の生協職員の推し商品とコメントを特集します。誌面をお楽しみに！

お店

7月30日（火）のチラシで全国の生協職員の「推しセレクション」を発表。
職員おすすめのコープ商品を、お買い得で購入できるチャンスです！
※一部コープのお店がない地域があります。またミニコープは除きます。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成を目指しています。

